

## こども園・ひかりのこ さっぽろ 自己評価集計結果（前期）

評価は、3段階です → A・・・できた B・・・少しはできた C・・・まだできていない

### 📎教育・保育課程

		A	B	C
1	認定こども園保育・教育要領の内容に沿った乳幼児の発達に即した指導をしている。	2	7	0
		22%	78%	0%
2	園の教育・保育課程の編成、実施の考え方について理解している。	4	5	0
		44%	56%	0%
3	園の教育・保育課程に基づいて、指導計画や日案などの作成をしている。	4	5	0
		44%	56%	0%
4	園の教育・保育課程に基づいて、遊具・用具を活用している。	3	6	0
		33%	67%	0%
5	園の理念や目標の下に園行事を実施している。	6	3	0
		67%	33%	0%

### 📎乳幼児教育

		A	B	C
1	乳幼児に適した環境を意識し、学級運営をしている。	3	5	1
		33%	56%	11%
2	環境を通して行う、こども園教育を実施している。	1	7	1
		11%	78%	11%
3	乳幼児との信頼関係が構築されている。	9	0	0
		100%	0%	0%
4	乳幼児の主体的な活動が尊重されている。	4	4	1
		44%	44%	11%
5	遊びを通じた総合的な指導が適切に行われている。	2	7	0
		22%	78%	0%

### 📎保健管理

		A	B	C
1	家庭と連携し、一人一人の健康管理に努めている。	7	2	0
		78%	22%	0%
2	日常の健康観察や、疾病予防の為の取り組みを適切に行っている。	5	4	0
		56%	44%	0%

## 安全管理

		A	B	C
1	事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、日々の保育・教育にあたっている。	5	4	0
		56%	44%	0%
2	危機管理マニュアルを活用し、対応している。	1	5	3
		11%	56%	33%
3	安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上を図るための取り組みを行っている。	2	5	2
		22%	56%	22%

## 特別支援教育

		A	B	C
1	特別な支援を必要とする乳幼児について、個別の教育支援を計画し、実施している。	2	5	2
		22%	56%	22%
2	特別な支援を必要とする乳幼児について、家庭及び医療や福祉などの関係機関との連携を適切に図っている。	3	4	2
		33%	44%	22%

## 情報提供

		A	B	C
1	園児の個人情報を保護している。	9	0	0
		100%	0%	0%
2	クラス便りなど、保護者を対象とした情報の公開に適切な工夫がなされている。	5	4	0
		56%	44%	0%

## 保護者・地域との連携 子育て支援

		A	B	C
1	保護者から寄せられた具体的な意見や要望を把握し、適切に対応している。	3	5	1
		33%	56%	11%
2	保護者との連絡の充実を図っている。	3	6	0
		33%	67%	0%
3	保護者懇談会の内容の充実を図っている。	5	3	0
		56%	33%	0%
4	カウンセリングの基礎を理解し、保護者の相談に対応している。	4	4	1
		44%	44%	11%
5	地域との協力を意識し、保育・教育にあたっている。	2	3	4
		22%	33%	44%

## ✎教育環境整備

		A	B	C
1	学習・生活環境の充実の為に、遊具・用具・玩具・図書などを整備している。	3	6	0
		33%	67%	0%
2	施設・設備の安全・維持管理の為に点検に取り組んでいる。	4	5	0
		44%	56%	0%

## ✎組織運営

		A	B	C
1	クラスリーダーは適切にリーダーシップを発揮し、他の職員から信頼を得ている。	0	7	2
		0%	78%	22%
2	明確な方針を示し、それに基づいて学級運営ができるよう指導している。	0	6	3
		0%	67%	33%
3	保育教諭の保育・教育状況を的確に把握すると共に、適切な指導・助言を行っている。	1	5	3
		11%	56%	33%

## ✎その他

		A	B	C
1	雑用と言われるような仕事も率先して行っている。	3	5	1
		33%	56%	11%
2	決められた係の仕事をしっかり行っている。	6	3	0
		67%	33%	0%
3	電話・来客者への対応をしっかりとしている。	6	3	0
		67%	33%	0%
4	実習性に対して丁寧な指導、思いやりのある対応を心がけている。	6	3	0
		67%	33%	0%
5	提出物の期日を守れている。	5	2	2
		56%	22%	22%
6	園内の整理整頓・美化に努めている。	4	3	2
		44%	33%	22%

<課題点・改善案>

●…課題点      ◎…改善点

●リーダーとしての保護者対応に、迷いや不安がある。

◎保護者の方とお話させて頂くにあたり、何か相談したり伝えなくてはいけない事がある時だけでなく、普段からのコミュニケーション、信頼関係が大切であると考え。その時に、リーダーだからではなく、あくまで、一担当として、子どもたちの様子をしっかりと伝えられるよう努力していきたい。この姿勢をしっかりと見せる事で、後輩の成長にも繋がるように思う。

●クラス間の連携を、もう一歩進めていきたい。

◎クラス内での打ち合わせなど、連携を進めているが、経験の差などもあり、上手く伝わり切らない事もある。今後も、良く話し合う事を心にとめ、より良い連携が出来るよう努めていく。また、クラスだけでなく、園全体での連携にも波及できるように、声を掛け合っていきたい。

●行事と、日々経験させてあげたい活動のバランスが難しく、活動を充実させられていない。

◎日々の活動はもちろん、行事も、ひかりのご乳幼児教育の一環として、子どもたちにぜひ、経験してほしいもののひとつである。行事は、年間計画で決まっているものがほとんどなので、1年の見通しを持ちながら、無理なく行っていけるよう計画していきたい。また、自分のクラスだけでなく、他クラスの取り組みにも視野を広げ、共有したりすることでも、保育業務の部分では負担を減らしていけるように思う。

●安全面の確保と、活動の充実が難しい。

◎安全の確保は当然ながら、子どもたち自身にも、危険とは何なのか、また、自分の身の守り方や、何かあった時には、どうしたら良いのかを伝えていく必要がある。何もかもを排除してしまっただけでは遊びの楽しさも半減してしまうので、使い方や、その危険も十分伝えたくて、活動に取り入れていきたい。また、広い場所や、普段と違う特別な活動時など、無理せず、補助を要請することも心にとめていきたい。

●リーダーとしての能力に自信がなく、後輩たちを委縮させていないか心配である。

◎リーダーとして、一緒に働く仲間として、節度あるコミュニケーションを大切にしていく。また、立場上、指導しなくてはならない場面も多いが、その後のフォローや、アドバイスも意識していく事で、良好な関係を築けるよう努力したい。評価反省にも、自信の無さをうかがわせる項目もあったが、謙遜の必要はなく、自信のない部分については、今後伸ばしていけるよう、自己研鑽を重ねていく必要がある。

## こども園・ひかりのこ さっぽろ 自己評価集計結果（前期）

評価は、3段階です → A・・・できた B・・・少しはできた C・・・まだできていない

### 📎教育・保育課程

		A	B	C
1	認定こども園保育・教育要領の内容に沿った乳幼児の発達に即した指導をしている。	5	8	0
		38%	62%	0%
2	園の教育・保育課程の編成、実施の考え方について理解している。	6	7	0
		46%	54%	0%
3	園の教育・保育課程に基づいて、指導計画や日案などの作成をしている。	6	6	0
		46%	46%	0%
4	園の教育・保育課程に基づいて、遊具・用具を活用している。	7	6	0
		54%	46%	0%
5	園の理念や目標の下に園行事を実施している。	8	5	0
		62%	38%	0%

### 📎乳幼児教育

		A	B	C
1	乳幼児に適した環境を意識し、学級運営をしている。	9	4	0
		69%	31%	0%
2	環境を通して行う、こども園教育を実施している。	7	6	0
		54%	46%	0%
3	乳幼児との信頼関係が構築されている。	8	5	0
		62%	38%	0%
4	乳幼児の主体的な活動が尊重されている。	7	6	0
		54%	46%	0%
5	遊びを通じた総合的な指導が適切に行われている。	7	6	0
		54%	46%	0%

### 📎保健管理

		A	B	C
1	家庭と連携し、一人一人の健康管理に努めている。	10	3	0
		77%	23%	0%
2	日常の健康観察や、疾病予防の為に取り組みを適切に行っている。	10	3	0
		77%	23%	0%

## 安全管理

		A	B	C
1	事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、日々の保育・教育にあたっている。	9	4	0
		69%	31%	0%
2	危機管理マニュアルを活用し、対応している。	4	9	0
		31%	69%	0%
3	安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上を図るための取り組みを行っている。	6	7	0
		46%	54%	0%

## 特別支援教育

		A	B	C
1	特別な支援を必要とする乳幼児について、個別の教育支援を計画し、実施している。	4	8	1
		31%	62%	8%
2	特別な支援を必要とする乳幼児について、家庭及び医療や福祉などの関係機関との連携を適切に図っている。	3	9	1
		23%	69%	8%

## 情報提供

		A	B	C
1	園児の個人情報を保護している。	12	1	0
		92%	8%	0%
2	クラス便りなど、保護者を対象とした情報の公開に適切な工夫がなされている。	8	5	0
		62%	38%	0%

## 保護者・地域との連携 子育て支援

		A	B	C
1	保護者から寄せられた具体的な意見や要望を把握し、適切に対応している。	5	8	0
		38%	62%	0%
2	保護者との連絡の充実を図っている。	7	6	0
		54%	46%	0%
3	保護者懇談会の内容の充実を図っている。	4	9	0
		31%	69%	0%
4	カウンセリングの基礎を理解し、保護者の相談に対応している。	6	7	0
		46%	54%	0%
5	地域との協力を意識し、保育・教育にあたっている。	5	5	3
		38%	38%	23%

## 🔧 教育環境整備

		A	B	C
1	学習・生活環境の充実の為に、遊具・用具・玩具・図書などを整備している。	5	8	0
		38%	62%	0%
2	施設・設備の安全・維持管理の為に点検に取り組んでいる。	5	8	0
		38%	62%	0%

## 🔧 その他

		A	B	C
1	雑用と言われるような仕事も率先して行っている。	9	4	0
		69%	31%	0%
2	決められた係の仕事をしっかり行っている。	7	6	0
		54%	46%	0%
3	電話・来客者への対応をしっかりとしている。	12	1	0
		92%	8%	0%
4	実習性に対して丁寧な指導、思いやりのある対応を心がけている。	9	4	0
		69%	31%	0%
5	提出物の期日を守れている。	5	8	0
		38%	62%	0%
6	園内の整理整頓・美化に努めている。	9	4	0
		69%	31%	0%

### <課題点・改善案>

●…課題点    ◎…改善点

●基本業務に時間がかかってしまい、係の仕事や整理整頓、環境づくりにまで気を配れず、期限もギリギリになってしまう事があった。

◎環境整備や、係の仕事では、分担も可能な範囲ではあるので、経験年数が浅いうちには、まず、基本業務がしっかり身に着けられるようなサポート体制を、園の中でも整えていく。

●もっと、1対1で子どもと向き合えるような関りが出来ればよかった。

◎集団保育の中で、1対1の時間を作る事が難しい場合がある事も事実ではあるが、限られた時間の中でも、向き合おうとする姿勢や、子どもの発信するものに気づき、受け止められるような、保育者としての資質を、経験や研修を通して高めていきたい。

●子どもの興味を、日々の活動に取り入れる難しさを感じている。

◎活動に取り入れるには、そもそも子どもの興味に気づく事が大前提で、その展開を保育者が支える必要があるように思う。まずは、子どもをみる視点をそれぞれが養い、一緒に探求するうちに、保育に取り込めるようになるのではないだろうか。保育者一人ひとりの気づきを共有する機会をもっと、大切にしていきたい。

<課題点・改善案>

●…課題点      ◎…改善点

●朝の受け入れ時など、保育者としての力不足を感じる。

◎日々の保育を通して、子どもたちとの信頼関係をより密に出来るよう心掛けていきたい。

朝は、保護者の方々も不安に感じる事や、急いでいる事も多い時間帯ではあるので、慣れた保育者の受け入れの様子を見習いながら、子どもの様子を見て、新任者も挑戦していけるようにする。

●保育者としての言葉遣いが、良くなかったかもしれない。

◎言葉遣いは、言葉を覚え始める乳幼児期の子どもたちにとって、身近な保育者の影響は多大なものである。普段から、見られている・聞かれているという意識を持ちながら、今一度、自身を振り返る必要がある。また、不用意な言葉で、保護者の方にも意図しない伝わり方をしてしまう事が考えられるので、保育者として、一社会人として、気持ちの良い言葉のやり取りが出来るよう心がけていく。

●感染症対策への理解が少なかった。

◎感染症に関しては、経験以上に、自ら知識を深めようとする意識が大切であると考えられる。

その中で、普段から先輩保育教諭の対応や、感染対策をまずはクラス間で確認し合い、知識として積み重ねていく必要がある。

●安全管理や、環境の課題に気づく事が難しかった。

◎今日までの経験を振り返り、保育者自身が、安全管理の大切さや、環境づくりの重要性に気づく事が必要である。そのために、まずは、マニュアルを読み返し、基本的に求められる安全管理・対策を今一度確認し、現場での行動に繋げていく事から始める。

●任せてもらえることが増えた分、自身の判断の難しさを感じている。

◎全体的に、自分の保育への自信の無さを伺わせる反省が多くみられている。経験のある保育教諭は、具体的に言葉にして良かったところや、改善できるところを示す必要性も感じている。一方で、若手職員も、自身の良いところを認識し、得意分野から積極的に取り組む姿勢が大切であると感じる。そのためにも、自己発揮しやすい職場関係を引き続き意識し、経験年数を超えて協働しあえる働き方を、一人ひとりが意識していきたい。